

【建築・電気科3年 建築コース】課題研究

江津市内歴史的建造物修復班④

修復活動②（有福温泉地藏堂）

令和2年度、建築・電気科3年建築コース「江津市内歴史的建造物修復班（4名）」では、有福温泉地藏堂を伝統的な宮大工の技術を使って修復しました。昭和47年の大水害の際に有福温泉街は山崩れにあい、その後、新たに建てられた地藏堂であることが分かりました。修復前には、正面左の格子扉の下框が紛失しており、右の格子扉の格子部分が一部破損し、蝶番やそれをとめる釘の錆びが激しい状況であったので今回はそれらを修復しました。新材は片方を男木、もう片方を女木にし、



女木側は、雇いほぞとしました。格子は、破損部を横木の上で斜めに切断し、接着面の拡大と木の繊維に接合部を平行に近づけることで修理箇所が目立たないように修復しました。

3年間学んだ建築の知識が生かせるかを考えながら、仲間と協働し、助け合い、課題を克服することができました。

